

式 辞

本日、本校卒業式に御臨席いただきました来賓の皆様にご心よりお礼申し上げます。

ありがとうございました。

(起立 礼 着席)生徒

厳しかった冬の寒さが和らぎ、ほほをなでる風に春のやわらかさを感じ始めた本日、菊川市議会議員の皆さまを始め、多数の来賓の皆様のご御臨席を賜り、平成30年度菊川市立菊川西中学校の卒業式をこのように立派に挙行できます事はこの上ない喜びであります。

さて、

卒業生のみなさん、私は今みなさん一人ひとりに卒業証書を手渡し、皆さんが中学校の全課程を修了したことを認定しました。今の気持ちはどうでしょうか？たった一枚の卒業証書ではありますが、そこには冬の寒さ、夏の暑さにも

負けずに登校し、クラスの友達と学び合い、笑い合い、部活の仲間と共に汗を流した何にも変えがたい思い出がこめられているはずです。中学校での三年間は、あなた達にとって決して平坦な日々ばかりではなかったと思います。しかし、それも大切な思い出の一つとしてあなた達の心の中に残されているのではないでしょうか。

三年前の一月、当時六年生だったあなた達は「新入生説明会」に参加するためこの体育館に来ました。歓迎合唱をするために、体育館の両脇に整列し、静かに座っていた。現在高一の先輩達の周りをはしやぎまわっていたあなた達を見て私は隣に居た当時の教頭先生と「今年の一年生は大丈夫か？えらく落ち着きが無いぞ」と話したのを覚えています。人生の中でも中学校時代が一番成長する時、一

年の違いはとて大きいと分つてはいても、そんな事を考えてしまふあなたは達の姿でした。「今年の一年生は落ち着きが無く、ドタバタしている」そんな私のあなた達に対する見方が変わったのが三学期でした。

県内の多くの中学校が参加して行われる学力診断調査です。このテストは他の学校の生徒と点数を比べるテストではありません。生徒一人一人が自分の到達度を見るためのものです。しかしどうしても気になるので、校長どうしで「今度のテストどうだった？」と平均点を交換すると、近隣の中学校に平均点で10点以上上回る抜きん出た成績でした。「この子達、こんなことができるんだ！」大きな驚きでした。

そしてその思いがさらに強い物になったのが、あなた達にも何度か話した「国語の時間」です。修

了式まで残り一週間という時期の授業で、ポスタセッションに使うポスタがまだ完成していません。私が筑地先生に「これ三学期中にやれますか」と聞いたところ「大丈夫です」と言う返事が返って来ました。次の国語の時間、教室に行ってみると言葉通りポスタセッションをしていますが。朋也くんが「校長先生来て!!ドラえもんの人気キャラクターについて説明します。」と完成したポスタを使って大変上手に説明してくれました。

ここを境に私があなた達を形容する言葉は「ドタバタした、落ち着きの無い学年」から「パワーの学年」へと変わりました。

二年生になると、あなた達のパワーが爆発します。七月の県通信陸上を終えて帰って来た陸上部の河合先生は「二年生の花香も全国

大会の標準記録をきりました」と笑顔で報告してくれました。熊本県の笑顔健康スタジアムで行われた全国大会、花香さんは予選で千葉・松戸五中の選手に続き、二位でゴールに飛び込みました。決勝には進めませんでした。綺麗なフォームで走る花香さんの姿は印象的でした。その陸上部は、新人戦で二年男子部員がたった四人しか居ないというハンデを、愛斗くんがハードルで優勝し、現二年生が頑張って積み上げてくれた点数を無駄にせず、団体戦連続優勝をつないでくれました。

春のしんきんカップです。伊東門野中学と対戦した野球部は最終回までヒットが出ず「ノーヒットノーランをやられるのか」と覚悟した時、伊藤監督は、代打に豪くんを指名しました。「ホームランだけ気をつけろ」相手ベンチから監督が叫びます。このプレッシャを

はねのけ、豪くんはヒットを放ち、ノーヒットノーランを免れました。

あなた達にとって厳しい事も有りました。「それが、精一杯の合唱ですか!!」合唱の中間発表会後の講師鶴見先生の大声が体育館から校長室まで聞こえて来ました。『今年には昨年の二の舞はしない』満を持して望んだ三年生の中間発表会でも『頑張ったのは最後のニクススだけです』と評価は上がりません。『すみません。今年もうまく指導できていなくて』昼休みに食事をされている鶴見先生に私がこう言うと、鶴見先生は『あの子達は力を持っていきます。それをうまく発揮できていないのです。あの子達を信じて、今年も強く言いましょう。』と仰いました。一年に二日しか学校に来ない鶴見先生にもあなた達のパワーはきっちり伝わっていました。

三年生になったあなた達は名実共に「菊西中の顔」となりました。四月にすぐ修学旅行が行われました。ホテルは奇しくも前年と同じ「ホテルルビノ堀川」です。

先輩達と同じホテルで「今年が生徒はちよっと落ちる」などと言う事は絶対言われないうちにしよう。と出発式で私はあなた達に言いましたね。そして、あなた達はきっちりやり遂げました。修学旅行が終わってバスから降りようとした時、私の乗った1組のバスガイドが「来年も菊西中の修学旅行の乗車を会社に申し出ます。校長先生はまた一号車ですよ。一号車を希望します。」と言いました。彼女にとってあなた達との3日間の旅行がいかにも良いものであったのかを物語っています。

高一の先輩達は生徒数があなた達とほぼ同じ166人で五クラス。あ

なた達にとって一番身近な先輩であり、ライバルだったのではないでしょう。か。いつしか、あなた達の言動に「先輩達がやったのなら僕達だって」という思いが現れ出したのに気づきました。

そうしたあなた達の思いは夏の中体連大会で発揮されました。

県大会以上に出場した種目は団体種目で、女子卓球、男子バスケット、ソフトボール、男子テニスの4種目、個人種目では、地区団体優勝の陸上競技部と柔道、男女テニス、女子卓球の5種目でした。そして、総合杯女子準優勝、男子三位。この成績は私が本校に赴任してからの四年間で最高であり、昨年度の女子総合杯優勝、陸上部全国大会出場とは別の意味で、あなた達の学年の集団としてのパワーの大きさを如実に示しました。

「先輩がやったのなら私だって」
秋に行われた英語弁論大会では
昨年全国大会に出場した玲依さん
を強く意識し、代表の京夏さんは
弁論大会の舞台に立ちます。「MY
father's gift of life.」京夏さん自
身の経験から「命の尊厳」を語る
すばらしい内容でしたが、地区予
選を突破するも、県中部大会で破
れ、泣きながら校長室へ報告に来
た京夏さんの姿に、私は「もっと
もっと自分を磨いて、次はさらな
る高みを目指そう」という強いパ
ワーを感じました。私の教職人生
37年の中で英語弁論の代表が全国
大会出場を逃して、涙を流したの
を見たのは今年が初めてです。

そして、これは何も今日名前を
挙げた朋也くんや京夏さん達だけ
ではなく、あなた達全員が意識し
ている、いないに関わらず、学年
集団として持っている「カラー」

なのです。

さて今までにあなた達にお話し
てきた事を思い出してください。
一昨年、夏季オリンピック陸上競
技で、十秒を切る選手が一人もい
ないのに銀メダルを獲得した日本
男子400mリレーチームを例に、昨
年は冬季オリンピックで、大柄な
メダリストを揃えたオランダチー
ムを破って金メダルを獲得した日
本女子追い抜きパシユートチーム
を例に、『一人ひとりのパワーの差
はチームとしての力である程度埋
めることができる』と話しました。
覚えているでしょうか？

今年度は女子テニスの大坂なお
み選手が全米、全豪の二大タイト
ルを連取し、大変な話題となりま
した。全米オープン決勝戦で彼
女はアメリカの4大トーナメント
優勝²³回のセリーナウィリアム
ズ選手と対戦しましたが、試合中

彼女は審判の判定が不満で、「点数泥棒」などと暴言を吐き、ラケットをコートにたたきつけて壊すといった乱暴な行動をしました。しかし、あなた達よりほんの少しだけ年上、20才の大坂選手はそんな状況でも心を乱される事無く、冷静に試合を行い、セットカウント2対0で勝利しました。

考えてみて下さい、男子以上に大柄なセリーナ選手がいきり立ってラケットを力いっぱいコートにたたきつけたのです。どんなに怖かったでしょうか？この逆境に打ち勝った大坂選手の精神力の強さに驚くばかりですが、試合後のインタビューはさらに衝撃的でした。

彼女は『聞かれたことと違うことを話します』と前置きしてこう言います。『観客の皆さん、皆さんがセリーナ選手を応援していたのは知っています。でもこのような結果になりました。私は世界トッ

ププレーヤーのセリーナ選手と試合
ができたのをたいへん光栄に思っ
ています。』と、そしてまだブーイ
ングが鳴り止まない観客席に向か
って『今日は、私の試合を見に来
てくれてありがとうございまし
た。』と涙ながらに一礼して話を締
めくくりました。『後味の悪い荒れ
た試合をなおみの謙虚な言動とマ
ナーの良さが救った』と、大坂選
手は世界中の多くの人々から賞賛
を浴びました。

身長180cmの恵まれた体格の大坂
選手ですが、彼女はいつも優しげ
な表情でプレーし、試合後のイン
タビュでは必ず「私の試合を見に
来てくれてありがとう」と観客席
に一礼します。

私がパワー学年と名付けたあな
た達は、大坂選手に勝るとも劣ら
ないくらいのパワーを持っている

と思います。しかしパワーを持っている事と、発揮できる事は同じではありません。

私はあなた達に「本当の強さは優しさの中にある」と何度も言ってきました。あなた達のパワーを最大限に発揮するために必要なものを大坂選手は示してくれたと思います。それが「優しさ」です。スポーツの例で言うならば、試合の対戦相手、道具やコート、そして応援してくれたチームメイトや観客に「ありがとう」と感謝の気持ちを持てる姿だと思っています。

あなた達一人ひとりが自分で決めた卒業後の進路先で、自分達のカラー、「パワー学年」を信じて優しさを忘れず、勉強に、部活に精一杯励み、最高の成果を挙げてくれる事を期待しています。

保護者の皆様、本日はお子様の

御卒業おめでとうございます。保護者の皆様にとっても、お子様たちとともに過ごした三年間は「喜び」「苦しみ」「悩み」の連続だったのではなかったかと推察いたします。私も一女、二男の三人の子どもを育てましたが、彼らの中学校時代も決して平坦ではありませんでした。

毎年お話しているのですが、保護者の皆様にも、ちよつとだけ子育ての先輩として生意気な言い方ですが、私の下の息子との話を例にとり、お子様との関わりについてお話したいと思います。

娘と上の息子は私に似て運動がそれほど得意でなく、二人とも中学校では吹奏楽部所属でしたが、三人目は逆に体を動かすことが好きな子で幼稚園からスイミングクラブに通い、小学校高学年では選手コースに入れてもらいました。

しかし小学校時代は「練習嫌い」で、「今日は頭が痛い」などと言つて事あるごとに練習を休もうとしていました。小六の時、ひよんな事から全国大会に出場できたのですが、当然惨敗です。そんな彼が帰りの車の中で「お父さん、何秒切れたら全中にいける？」と私に聞いてきました。全中の標準記録を教えてやると「ふーん」と聞いていました。それからです。それまで事あるごとに練習を休もうとしていたのが、ガラッと変わりました。休日のことです。私が言わなくても、自分で朝五時に起き、自転車で朝練に行く姿が有りました。現在は大学で、トライアスロンの大会に出ているようです。

私は下の息子から「子どもは目標がハッキリすると想像以上に頑張れる」という事を学びました。

みなさまのお子様達は、紆余曲

折はあったかもしれませんが、自分で進路先を決め、受験勉強を乗り越え、自分の進路を掴み取りました。「次の目標がハッキリした」と思います。みなさまが、お子様達の最も身近な人生の先輩として「大人としてのアドバイス」が必要になる時だと思えます。

これからは、成長されたお子様の持っているパワーを信じ、一人前の大人として接してあげると、きっと楽しい付き合い方ができるのではないでしようか。

来賓としてお出でいただいた地域の皆様。毎年言いますが、子どもは「地域の宝」です。本日、菊川西中で三年間お預かりしていただきました「地域の宝」160人を無事、皆様の元へお返しすることができました。

私は、毎朝西門で登校指導をしています。会社の出勤時間と重な

るこの時間、何百人もの子ども達
が横断歩道を渡ります。忙しい朝
の時間、何度も押しボタン信号で
止められ、「いい加減にして欲し
い」と言う思いがしても不思議で
は有りません。しかし、この四年
間、私はいらだったクラクション
の音を一度も聞くことはありません
でした。

教育は学校・家庭・地域が一体
となって初めて効果を挙げること
ができるという話は、よく言われ
ることですが、本日を迎えること
ができたのは、ひとえに地域の皆
様方のお力添えがあったからだ、
強く感じております。

私を含め、本校の職員が教育の
専門家として完璧な仕事ができ
たとは思いません。

しかし一つ、申し上げられるの
は、本校の先生達が土日の部活動
をはじめ、一月100時間を超える時

間外勤務等、膨大な時間と労力を子ども達のために費やしてくれたということですので。私は教育の成果云々は別として、手前味噌とのそしりを受ける事を承知の上で、「本校の先生たちを誇りに思っています」と皆様方に申し上げます。

そして本日、菊西中教育に多大な御支援を賜りました保護者の皆様、地域の方々をはじめ、本校の全職員と共に、卒業生の前途に幸多かれと祈り、第58回卒業式の式辞とさせていただきます。

平成三十一年三月二十日

菊川市立菊川西中学校

校長 森田昌浩